

ふ れ あ い

題 字 辰巳 静 兄

第101号

発行日 平成26年5月吉日

発行人 大田 和人

東大阪養護老人ホーム 編集委員会

東大阪市新上小阪11-2

東大阪養護老人ホーム 06-6726-3031

E-MAIL hoy@ace.ocn.ne.jp

http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

ごあいさつ

4月より介護総括主任として着任いたしました。3月には例年より早く桜が咲き始めたので早くに散ってしまうことを心配していましたが、思ったより長く桜の花が咲き続け万博外環の桜を楽しみながらこちらまで通わせて頂いています。利用者様もお元気な方が多く1階地域交流スペースで毎朝行われるラジオ体操にはたくさんの参加があり嬉しく思っています。私も健康の為できるだけ参加していきますのでよろしくお願い致します。また、一人一人のご利用者のその人らしさを大切にしたお手伝い出来るよう努めるとともに、東大阪養護老人ホームが地域社会に信頼され地域の重要な社会資源としての役割が果たせるよう職員一同万進して参ります。

12月に上六万寺町より新上小阪に新築移転した現在の建物は個室個室で木の香りが漂いご利用者にとって快適な居住空間となっています。また、個室となったことにより個人の好みに合わせて部屋をレイアウトしたり飾りつけしたりすることが出来るようになり、よりその方らしい生活が実現できるようになりました。敷地内にはデイサービスセンターが設置され、要介護認定を受けたご利用者が参加され入浴やレクリエーションを楽しみながら介護予防に取り組めるメニューが組まれています。月曜から金曜まで毎日10名の方が参加され、これから5月にかけて端午の節句に向けた作品制作を楽しんで頂く予定です。



介護総括主任
水谷 真弓

東大阪養護老人ホーム事業計画(抜粋)

1. 施設目標

新築移転に伴い様々な行事の開催やボランティアの受け入れなど地域住民との連携を密にとり、利用者が地域に馴染め快適で安全な環境のもと生活できることを目標とします。

2. 事業方針

(1) 介護・生活支援サービスの向上

入所要因が、精神疾患やDV、身体障がいや認知機能の低下など複雑化し、なおかつ複数の要因が絡み合っているなか、施設内の各職種の連携はもちろんのこと、福祉事務所・医療機関などの関係機関とも調整をおこないながら利用者に最適な自立支援サービスを提供します。

(2) 地域社会における施設の役割と連携

開放感がある地域交流スペースでは、福祉施設としての介護予防等の研修を行い、地域の皆様との架け橋として喫茶店をご利用して頂けるよう最大限に工夫していきます。また、万一大災害が発生した場合、福祉避難所として地域貢献できるよう努めてまいります。

3. 平成 26 年度ステップアップ事業

(1) 地域との交流について

新たに新上小阪地区へ移転し、自治会をはじめ、地域の方々に養護老人ホームについて理解して頂くため、施設として様々な地域のイベントに参加させて頂くとともに、施設と利用者がいっしょに地域支援を行っていきます。地域支援としては職員と利用者で地域清掃ボランティア隊を結成し、毎月定期的に施設周辺を中心とした清掃活動と地域参加型のふれあい祭りを開催します。

主任生活相談員 山脇 竜介

東大阪養護老人ホーム ケアプランセンター 「ふれあい」



ケアマネジャー
藤薮 一世

養護老人ホームとしては、昨年12月まで上六万寺で地域の皆様から愛され、すくすくと存在しておりました。ここ上小阪に参りまして、新たに居宅介護支援事業を始めています。

平成26年2月1日、ケアプランセンター「ふれあい」は、誕生しました。2月の花では、梅の花があります。「梅」の花の花言葉のひとつが「忠実」です。「忠実」とは、「真心をこめてつとめること」。

わたしは、一人の人間として、女性として、もちろんケアマネジャーとしても、真心をこめてつとめることを信条とし、地域にお住まいの利用者様やご家族様へ、支援していきたいと思っています。

ヘルパーステーション 「ふれあい」



サービス提供責任者
吉開 美由紀

在宅のヘルパー派遣事業を、平成26年2月より開始致しました。

何もかも新しい新鮮な気持ちでいます。スタートしたてですが、利用者様に住み慣れた地域でいきいきと過ごしていただき、生きがいを持ち続けて頂けるような支援をさせていただければと思います。在宅支援での知識を十分に生かし目標を達成できるように日々頑張りたいと思っています。

皆さんのご協力宜しくお願い致します。

目標

「人につなげていく介護。」

安心・安全な地域づくり。」

旧東大阪養護老人ホーム跡地にて 障がい者サービス事業を開始いたします

東大阪市新規事業開設準備室 室長 丸山 浩二

東大阪養護老人ホームの皆様に慣れ親しんで頂いておりました、上六万寺町の跡地にて、障がい者就労支援事業を開設することとなりました。

今年八月のオープンに向けて準備を行っており、パン工房や喫茶店を開店いたします。秋には法人内の高齢者入所施設の朝食用に美味しいパンをお届けいたしますので、ぜひご期待ください。また、お近くにお越しの際には、喫茶店にもぜひ立ち寄ってくださいように、お願い申し上げます。



行事紹介

介護職員 山本 麻友美

施設近隣の八戸ノ里公園での、花見ツアーを催しました。

移転前は、利用者様のお部屋より毎年満開の桜を望むことができていましたが、移転後は、施設周辺に自然が少なく、利用者様より「さみしい」との声が聞こえていました。

公園に着くと、満面の笑みで「きれいやなあ。満開やあ。」と話される利用者様もおられ、大盛況となりました。6 月より個別外出ツアーを予定しています。施設での日々の生活の中に楽しみを持っていただけるツアーを企画させていただきます。



フルーツ、民踊

主任介護職員 庄野 剛史

当施設も上六万寺より新築移転してきて、もうすぐ半年が経とうとしています。徐々に皆様も新施設での生活に慣れてこられ、施設の雰囲気も落ち着いてきました。さて、施設内行事としては、ボランティアの先生方によるクラブ活動はもちろん、地域の方々による創作ダンスの披露や職員の家族によるフルーツの演奏会など、移転前には無かった行事も行えるようになってきました。これからも新しい行事を追加しながら盛り沢山の行事が出来るよう取り組んで参ります。



給食、喫茶

栄養士 浅井 彰誓



皆様こんにちは、4 月に東大阪養護老人ホームへ赴任しました栄養士の浅井 彰誓です。

毎日の朝・昼・夕の食事が選択食です。料理は利用者様自身が自己決定された

食事をされお顔がとても明るい表情です。又、地域交流スペースでの喫茶「花」は近隣の方々や、子供連れのご家族様の団らん場所として喫茶と軽食をご利用出来ます。今後、季節に合ったメニューを取り入れより多くの方々に喜んで頂けるような喫茶店に考えています。

医務便り

看護職員 中川 朋子

日差しが強くなってきましたが、これからあつという間に夏に向かいますね。

夏と言えば『熱中症』が毎年ニュースになりますが、今回はこの熱中症予防についてお話ししたいと思います。

熱中症の原因となりやすいのが『脱水症』という水分不足です。人のカラダのおよそ半分は水分で占められていて、生きていく上で『水分』はとても大切です。しかし、高齢者の方はトイレの回数が増えるので水分を控えがちになる方も多く、特に熱中症になりやすいのです。

脱水症のサインには

- 体の皮膚がカサカサ乾燥している。
 - 身体がだるい
 - 口の中がネバネバする。食物が飲み込みにくい
 - ふらつく
- などの症状があります。

このような症状がでたら すぐに水分を摂取する必要がありますが、まずはこのような症状がでてしまう前に水分を取るようして下さい。

食事の時は必ず水分を摂り、食事と食事の間に 1 杯、起床時に 1 杯、暑いところに出る時に 1 杯と飲むようにして、夏も元気で過ごしてください。

転入・新規職員紹介



主事 河村 信

始めまして、河村です。4月から井上さんの後任として仕事をするようになりました。

東大阪にはあまり縁がなくて4月に初めて八戸ノ里の駅に降り立ちましたが、周囲を閑静な住宅と大学に囲まれたすばらしい立地に毎日楽しく通っています。



介護職員 家常 大

昨年の桜の咲く頃にこの施設で働き出して1年が経ちました。

ありがたいことに皆様のおかげで今年からは正規職員として改めて皆様と関わる事が出来るようになりました。初心を忘れず頑張ります。

よろしくお願いします。

退職・転勤異動者

転勤

養護老人ホーム 主任生活相談員 丸山 浩二 よりそいの丘 準備室 室長

介護職員 吉見 章宏 事務局

主事 井上 あずさ 事務局

退職

栄養士 林 道子 (定年退職)

内部異動

養護老人ホーム 介護主任 藤田 浩美 デイサービス 主任生活相談員

デイサービス 生活相談員 徳森 祐貴 養護老人ホーム 生活相談員



ホームページ <http://www.osj.or.jp/higashiosaka/>



ブログ ブログは毎週更新していますので、是非ご覧ください。
<http://blog.goo.ne.jp/higasi3031>



編集後記

移転してから忙しい日々が続いていましたが、無事に新年度を迎えることが出来ました。利用者様も新しい環境に少しずつ慣れてこられ、新施設での生活を楽しんでおられます。今後は地域との交流や新しい行事を考えていきますので、広報紙「ふれあい」を通してご紹介したいけたらと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

生活相談員 徳森 祐貴

苦情解決等に関する取り組みについて

生活相談員 後藤 彰

ご意見、苦情に対して真摯に受け止め、迅速な対応への取り組みを心がけています。

また、施設のご利用者を良く理解して下さっている第三者委員の竹澤喜心先生が、月一度以上お越し頂いては、個別で利用者の声を傾聴して下さいます。今回の内容は下記のとおりです。

苦情
内容

個室になり職員がノックなしに、入室することがある。

今後の
対応

基本的なことが一部の職員にできていませんでした。今後は、入室する時にはノックをして、同意を得るように再度徹底しました。